		児童発達支援事業	所におけ	する自己	評価結果(公表)		
		児童発達利用児童なし					
公表:令和	6年			事業所名	ROSELLE CLUB R		
2/20 19 18			/-k1 >		1	課題や改善すべき点を踏まえた	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 広い訓練室を備えていま	改善内容又は改善目標	
	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		す。		
	2	職員の配置数は適切である	3		適切である。		
環境・体制 整備		生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等			一日のスケジュールをホ ワイトボードに記入し、		
	3	は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になさ	3		見通しをたてられるよう	必要に応じて対応していく。	
		れている 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になってい			工夫している。 営業開始前後、トイレ・		
	4	る。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		室内・外の清掃を実施。		
		業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り			定期的に会議を実施。朝 のブリーフィングでその		
	5	返り)に、広く職員が参画している	3		都度、見直しを行なって		
		保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の			いる。 アンケートをもとに業務		
	6	評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、	3		の見直しが出来るので助	保護者アンケートでの要望等コメント	
		業務改善につなげている 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏			かります。	に応じて改善していく。	
	_	まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果	_		ホームページでの公開を	HPにて公開を行なっている。保護者の	
業務改善	7	による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報	3		行なっている。	中でHPを知らない方がいる際は随時伝 えていく。	
		やホームページ等で公開している			第三者委員会は設置して	\0	
		 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につ			いないが、同グループで		
	8	なげている	3		の社内実地指導で評価を 行い、業務改善に繋げて		
					いる。		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保して	3		グループでの支援向上委員会・ 員会・虐待防止委員会等		
	,	เงอ	Ů		のを設立し研修を実施。		
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや 課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成	3		アセスメント後に事業所での個別支援会議を行な		
	10	している	J		っている。		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたア セスメントツールを使用している	3		えいぶるノートを活用している。		
		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの			C 1130		
	10	「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人 支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で	3		移行時に本人が困らない よう情報の共有を行なっ		
	12	示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選			ている。		
		択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている			個別支援計画書作成時に		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		必ず職員と会議を行なっ		
					て支援に繋げている。 マンネリしないよう、室		
	14	江野プログニナの支空ナイ ナマケ マルス			内でのプログラム・屋外		
適切な支援	14	活動プログラムの立案をチームで行っている 	3		プログラムをチームで出		
	45	751	3		し合っっている。 児童の意見も取り入れ工		
の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		夫している。		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み	3		児童の特性等に応じて職 員と情報を合わせて作成		
		合わせて児童発達支援計画を作成している			している。 毎日、ブリ <i>ー</i> フィングを		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われ	3		実施。(注意事項・活動		
		る支援の内容や役割分担について確認している			内容の確認等)	緊急性が高い内容であれば実施してい	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた世界の長りたりには、ものようになった。	3			るが、翌朝のブリーフィングでの振り返	
		れた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			る。	りが多い。	
					提供日誌・成長記録をとり、振り返りを職員と実		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検 証・改善につなげている	3		施。さらに児童の成長記		
					録をとることで支援の改善につなげている。		
		 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直			6ヶ月以内にモニタリン		
	20	しの必要性を判断している	3		グを行い、見直ししてい る。		
		 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ど			児童発達支援管理責任者	1	
	21	もの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		と状況に応じて児童指導 員を同席している。	OJT期間の児童指導員をトレーニング中。	
		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			相談支援事業所と連携し		
	22	連携した支援を行っている	3		て関係機関と情報を共有		
		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ど			している。		
	23	も等を支援している場合)		3	医療的ケアが必要な児童 の該当なし		
		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関 と連携した支援を行っている			の該国はし		
		• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ど					
関係機関や 保護者との 連携関係機 関や保護者 との連携	0.4	も等を支援している場合)		^	医療的ケアが必要な児童		
	24	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えてい		3	の該当なし		
							
		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別			移行時に本人が困らない		
	25	支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有 と相互理解を図っている	3		よう情報の共有を行なっている。		
					学校から引き継ぎの際、		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との 間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		利用児童の情報交換を行		
					なっている。		
	07	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達 障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修	3		外部研修会などに参加し 情報を伝達研修で共有し		
	21	を受けている	٦		ている		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のな		3	-	コロナ禍で地域との関わりが減った、	
	20	い子どもと活動する機会がある				今後関われるよう検討していく。	
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て	3		相談支援事業所との協力 で関係機関との連携を図		
	23	会議等へ積極的に参加している	Ĭ		っている		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発	3		送迎時もしくは連絡帳な		
		達の状況や課題について共通理解を持っている			ど活用している。		
	21	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支	3		様々な機会に支援方法の 共有やアドバイスを提案		
		援を行っている	٦		している。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行ってい	3		契約時に説明を行なって		
		る 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべ	<u> </u>		いる。		
		き支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成さ			個別支援計画書に保護者		
	33	れた「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明	3		の同意サインを頂いてい		
		を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている			る。		
	0.4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に				定期での相談ではなく、その都度で対応しているので保護者に定期声をかけ	
	34	適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			心しているので休暖省に足期声をかり ていきたい。	
		八四小人小江野大士坪上大小,但进去人位大田州士之位				保護者同士で話し合う時間を設けられ	
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等 により、保護者同士の連携を支援している	3			なかったので、次回改善できるように	
		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体				していく。	
	36	制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談	3		保護者からの要望等で業		
		や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	Ĭ		務改善に努めている。		
		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体			月一回おたよりを配布		
	37	制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		し、活動の様子を発信している。		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	+		個人情報の取り扱いに関		
			3		して同意書を取ってい		
					る。 伝える際に分かりやす		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮をしている	3		く、短く説明を意識して		
					いる。		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事 業運営を図っている		3		コロナ禍でのイベント開催が減り、地	
						域との関わりが減った。検討してい く。	
						へ。 マニュアルの職員周知は出来ている	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニ ュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、	3			が、保護者への周知と訓練に対する実	
		発生を想定した訓練を実施している	Ĭ			施報告について、おたより等で伝えて	
		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	+			いく。	
	42	な訓練を行っている	3		年2回避難訓練を実施。		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状	3		一覧表で把握できるよう		
		況を確認している 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に			工夫している。 一覧表で把握できるよう		
非常時等の対応	44	基づく対応がされている	3		工夫している。		
	45				ヒヤリハット発生時に事		
		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		故に繋がらないよう職員		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適 切が対応をしている。 3	+		で話し合っている。 年2回以上で委員会によ		
				る研修をグループ全体で			
		切な対応をしている			実施している。		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについ			身体拘束に関するマニュ アルのもと同意書等のフ		
		て、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説	3		オーマットは準備できて		
		明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			いる。該当児童なし		
	∘この	「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自	己評価です。				